



発信年月日:令和6年(2024年)12月13日
所 属 名:東近江農産普及課東部
番 号:D24017
発 信 者 名:伊吹、小嶋

若手普及指導員で東近江地域の普及活動戦略を作成

東近江農業普及指導センターの職員構成は、27名のうち14名(1名は育休中)が採用10年未満となっており、年々若い職員が増えています。普及指導計画を考える場合、当課が目指す地域農業の姿と方向性が合致しているかが重要ですが、経験の浅い若い普及指導員にとって管内農業の課題等を俯瞰的に捉えて計画を作成することは難しいのではないかと考え、昨年に続き普及活動戦略を考えるワークショップを開催しました。

ワークショップは、効率的・効果的な普及活動の実現に向けて全員が共有する『共通の目標』を作成することを目的に、2班体制で右図の流れで話し合ってもらいました。また、サポーターとして2人の専門幹にお願いし、発表ごとに意見もいただきました。10月29日、11月8日、12月6日の3日間かけてワークショップを行い、『東近江地域農業の目指す姿の実現』に向けた普及活動戦略を完成させました。

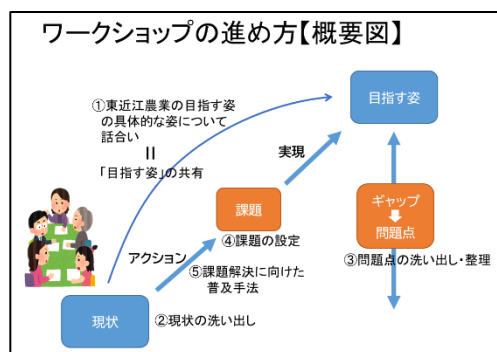


図 ワークショップの進め方

ワークショップを通じて、「組織」で仕事をすることを意識するよう伝えていきました。普及活動は専門分野に特化した仕事になりがちですが、農産普及課の職員として何をしなくてはいいかを活発に議論できたことは、自身の活動を見つめなおす機会になったのではないかと考えます。

次年度は普及指導基本計画の見直しの年でもあり、よりよい計画が作成できるよう引き続きワークショップの場を作りたいと思います。



ブレインストーミングの状況



発表風景